

長崎大学歯学部

Logo Design Guidelines

■ブランドロゴについて

ブランドロゴを正しく使用していただくことで、長崎大学歯学部
のブランドイメージを正確に伝えることができます。

ブランドロゴを使用の際は、このガイドラインをもとに正確に
表示してください。

ブランドロゴについて

Nagasaki University School of Dentistryの「N」をモチーフ
とし、「風」を感じさせるスタイルと、「手と手」イメージした
「つながり」を融合させました。

曲線で描かれた心地よい流れと「印象的であり、国際的なス
タイル」をコンセプトにデザインしています。

カラーには長崎大学のスタイルを用い、風合い感じる程度の
「グラデーション」の配色と、立体感を持たせる「影」をつけ
ています。

※拡大縮小について

カラーのロゴマークには「グラデーション」や「ボカシ」を使
用しております。拡大縮小の際は、現状を維持したまま行って
いただけますよう配慮ください。



長崎大学歯学部

NAGASAKI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY



NAGASAKI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY

■ カラー

基本の3色にプラス黒を加えたカラーがブランドカラーとなります。

ロゴマーク（フルカラーの場合）については、グラデーションを使用しているため、単色カラーでは表現できません。ロゴタイプ部分は黒としております。

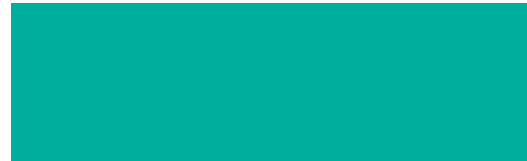


Process Color

C=85% M=55% Y=10% K=0%

RGB Color

R=30 G=105 B=170



Process Color

C=90% M=0% Y=50% K=0%

RGB Color

R=0 G=165 B=155



Process Color

C=5% M=35% Y=80% K=0%

RGB Color

R=240 G=180 B=60



Process Color

C=0% M=0% Y=0% K=100%

RGB Color

R=0 G=0 B=0

■バリエーションロゴ①

大きめのマークでバランスを組んだ「基本形」と、ロゴタイプに合わせてマークを小さくした「バリエーション形」をそれぞれご用意しております。

使用用途のスペースや、使用サイズにより「バリエーション型」を使用しても構いません。通常は「基本形」のご使用をまずご検討ください。

●基本形



長崎大学歯学部

NAGASAKI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY

●バリエーション形



長崎大学歯学部

NAGASAKI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY

●基本形



NAGASAKI UNIVERSITY
SCHOOL OF DENTISTRY

●バリエーション形



NAGASAKI UNIVERSITY
SCHOOL OF DENTISTRY

■ バリエーションロゴ②

大きめのマークでバランスを組んだ「基本形」と、ロゴタイプに合わせてマークを小さくした「バリエーション形」をそれぞれご用意しております。

使用用途のスペースや、使用サイズにより「バリエーション型」を使用しても構いませんが、通常は「基本形」のご使用をまずご検討ください。

● 基本形



長崎大学歯学部
NAGASAKI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY

● バリエーション形



長崎大学歯学部
NAGASAKI UNIVERSITY SCHOOL OF DENTISTRY

● 基本形



NAGASAKI UNIVERSITY
SCHOOL OF DENTISTRY

● バリエーション形



NAGASAKI UNIVERSITY
SCHOOL OF DENTISTRY

■アイソレーション①

ロゴの周囲には一定のアイソレーション（保護エリア）が必要となります。この領域内には、いかなる要素も配置することができません。

アイソレーションを確保していても、ロゴの印象を損ねるような目立つ要素をロゴの近くに配置することはできる限り避けてください。

示すアイソレーションエリアは「最低限のエリア確保」です。ロゴの独立性を保つため、より多くのスペースが確保できる場合は、アイソレーションエリア以上の多めの余白を設けることが望ましいです。

●アイソレーションエリアの算出方法

ロゴマークの高さを用いてクリアスペースとしてください。ロゴマークの高さをXとしたとき、余白はXの0.2倍（上下と左のスペース）と0.25倍（右のスペース）とします。

●基本形



●バリエーション形



■アイソレーション②

ロゴの周囲には一定のアイソレーション（保護エリア）が必要となります。この領域内には、いかなる要素も配置することができません。

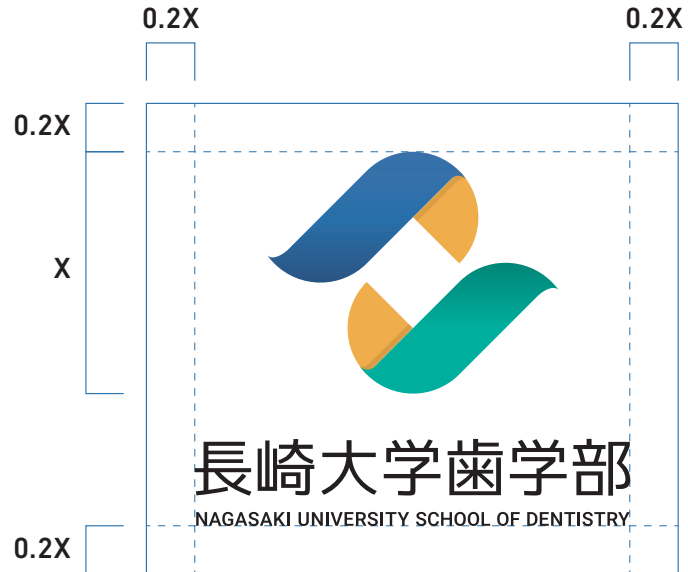
アイソレーションを確保していても、ロゴの印象を損ねるような目立つ要素をロゴの近くに配置することはできる限り避けてください。

示すアイソレーションエリアは「最低限のエリア確保」です。ロゴの独立性を保つため、より多くのスペースが確保できる場合は、アイソレーションエリア以上の多めの余白を設けることが望ましいです。

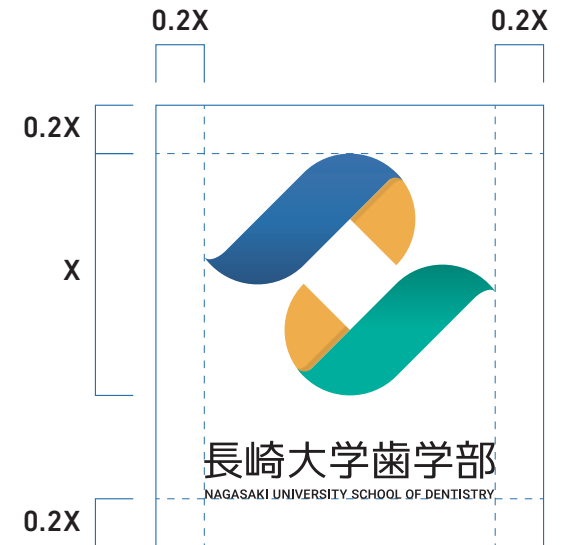
●アイソレーションエリアの算出方法

ロゴマークの高さを用いてクリアスペースとしてください。ロゴマークの高さをXとしたとき、余白はXの0.2倍（上下左右のスペース）とします。

●基本形



●バリエーション形



■アイソレーション③

ロゴの周囲には一定のアイソレーション（保護エリア）が必要となります。この領域内には、いかなる要素も配置することができません。

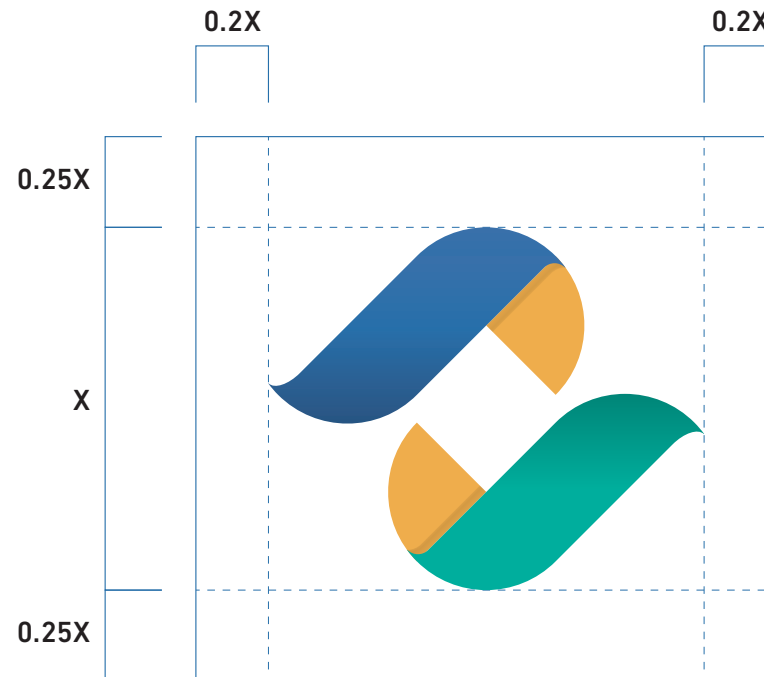
アイソレーションを確保していても、ロゴの印象を損ねるような目立つ要素をロゴの近くに配置することはできる限り避けてください。

示すアイソレーションエリアは「最低限のエリア確保」です。ロゴの独立性を保つため、より多くのスペースが確保できる場合は、アイソレーションエリア以上の多めの余白を設けることが望ましいです。

●アイソレーションエリアの算出方法

ロゴマークの高さを用いてクリアスペースとしてください。ロゴマークの高さをXとしたとき、余白はXの0.25倍（上下のスペース）と0.2倍（左右のスペース）とします。

●基本形



■推奨書体

推奨書体は、ロゴマークと親和性の高い書体です。

名刺等の印刷物、Webの制作物を作成する際、タイトルや本文等に使用するとロゴマークと調和の取ることができますので、参考としてください。

ロゴタイプ日本語は、「M+1P regular」を元に、オリジナルで制作しています。英語は「Heebo Medium」を使用しています。

「M+1P」と「Heebo」はフォントファミリーが豊富に用意されている書体です。用途により使い分けください。

また、どちらも「Google Fonts」に正式サポートされていますので、WebFontとしての使用も可能です。

●日本語タイプ M+1P regular (ベタ打ち例/40Q)

あいうえおアイウエオ123456

ファミリー例

あいうえおアイウエオABCDabcd123456

あいうえおアイウエオABCDabcd123456

あいうえおアイウエオABCDabcd123456

あいうえおアイウエオABCDabcd123456

あいうえおアイウエオABCDabcd123456

あいうえおアイウエオABCDabcd123456

●英語タイプ Heebo Medium (ベタ打ち例/40Q)

ABCDEFGHabcdefg123456

ファミリー例

ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789/&@

ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789/&@

ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789/&@

ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789/&@

ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789/&@

ABCDEFGHIJKabcdefghijk0123456789/&@

■1色カラー

特色1色や、ネガティブパターンになる場合の色指定の見本です。

ロゴマークは長い部分が背景色の100%（平アミ指定）となり、短い部分は背景色の30%（平アミ指定）となります。

なお、フルカラー以外ではラダーションとボカシの効果は不要となります。

使用する色に応じて、30%の濃度／平アミ指定の部分は調整してください。（調整範囲は20～60%とします。）

●モノクロ1色表示／ポジティブ



●モノクロ1色表示／ネガティブ



●カラー1色表示／ポジティブ (例)



●カラー1色表示／ネガティブ (例)



■使用禁止例

ブランドロゴを正しく表示するため、形状を変更したり、加工したりすることは、ロゴの印象を損ないます。

右記のような色や割合、配列など、ロゴの要素変更をしないようにしてください。また、右記以外でも、ブランドロゴのイメージがマイナス印象にならないよう、ご使用の際は正しい表示に努めてください。



× 変形してはいけません



× 文字のサイズや文字間を変更してはいけません



× 影や3D処理などの効果をつけてはいけません



× 要素の一部が欠けた状態で表現してはいけません



× 識別を損なう表示をしてはいけません



× 白くくり等の処理をしてはいけません